

# 重要なまちづくりの課題の現状評価シート

<b>重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)</b>	子どものしつけについての教育が、親に対してなされている
<b>施策名</b>	家庭教育のあり方について学ぶ機会を積極的に提供する No. 37

<b>年度</b>	平成27年度
<b>責任部長</b>	教育文化部長
<b>主担当課長</b>	生涯学習課長
<b>関係課</b>	—

**1. まちづくり指標の現状**

まちづくり指標	指標のめざす方向	実績値						目標値
		現状値		実績値				5年後
		H18	H20	H21	H22	H23	H24	10年後
親が子どもに対してしつけができていと思う人の割合(%)	→	15.7	19.0	19.6	20.1	22.4	25.9	22.4
子育て中の親に対する教育とサポートがなされていると思う人の割合(%)	→	15.9	18.7	21.4	24.0	24.5	25.9	22.5
家庭において道徳心が高いと思う子育て中の保護者の割合(%)	→	—	—	—	—	—	—	—
家庭教育に関する事業の数と参加者数	→	①事業の数(回)						
		②参加者数(人)						
		297	262	240	243	244	253	321
		253	263	269	267			270
		25,560	24,739	16,850	15,939	15,894	14,875	29,440
		14,875	14,136	13,662	12,691			16,700

**2. 外的要因(世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等)**

核家族世帯の増加と市外からの転入世帯が多いという地域性から、子育てやしつけに関して身近に相談できる相手がおらず、孤立しがちな親が多い。また、家庭教育に関心がない親や地域と関わりが不十分な子育て世帯に対し、個人情報等の兼ね合いもあり、手を差し伸べるのが難しい現状にある。一方、行政・民間・NPO法人などの子育てに関する事業やサポートが多種多様となり、親の選択肢が増えている。

**3. めざすべき姿に対する現状評価(まちづくり指標や外的要因等からの評価)**

<b>現状評価</b>	<b>B</b>	<p style="text-align: center; color: red; font-size: small;">停滞</p> 「しつけができていと思う人の割合」をはじめ、まちづくり指標の数値は全体的におおむね改善傾向にある。その一方で、「家庭教育に関する事業の数と参加者数」については、民間等が実施する類似の子育て関連事業・サポートの増加による参加者の分散化が影響していると思われるが、事業への参加者数が減少しつつある。
-------------	----------	---



**4. 事務事業群に対する評価(行政活動の評価)**

長期成果(事業群①)	長期成果(事業群②)	長期成果(事業群③)	長期成果(事業群④)
家庭(親):多くの親が家庭教育に関する正しい知識を得られる	地域(取り巻く人):地域において、家庭教育支援体制が整備され、きめ細やかなサポートが受けられる		
家庭教育推進事業	子育て支援ネットワーク事業		
家庭教育啓発リーフレット配付事業	生涯学習支援ボランティア育成事業		
子育て支援情報誌配付事業			
評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)の一手手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。		
評価	長期成果は、「家庭(親)」と「地域(取り巻く人)」とに整理され、モレなくダブリなく設定されている。		
次年度の改善計画	参加者数を増やせるよう、PR方法を検討するとともに、講座等の内容がより魅力あるものとなるよう企画していく。		

\*\*\*\*\*  
**総合計画推進市民会議による現状評価**(※総合計画推進市民会議が発表した「重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)の評価書」から転記)

<b>評価</b>	<b>B</b>	<p style="text-align: center; color: red; font-size: small;">停滞</p> 指標は全体的に横ばいであり、目標値が未達に終わりそうな指標もある。若い世帯やひとり親世帯へのサポートの必要性を感じる。
-----------	----------	---